

印刷業界におけるデジタル印刷に関するアンケート調査

2012 年デジタル印刷市場の現状

(2011 年市場データ)

《簡易版》

平成 25 年 2 月 28 日

社団法人 日本印刷産業連合会

目 次

I. 国内印刷企業へのアンケート調査の内容	3
I-1 デジタル印刷の市場規模 概観.....	4
II. アンケート調査の結果	5
II-1 アンケート回答企業.....	5
II-2 アンケートの結果.....	5
1. 主要受注品目	5
2. 社内の工程・製造設備	6
3. 2011年度の売上高.....	6
4. デジタル印刷機（生産機）の保有状況	7
5. デジタル印刷ビジネスの市場規模.....	8
6. デジタル印刷の利用促進	16
7. デジタル印刷機の今後（生産機）の導入計画	17

《簡易版サマリー》

I. 国内印刷企業へのアンケート調査の内容

印刷産業において生産機として使用されるデジタル印刷機は極小ロット、可変データ出力、また近年は大判印刷、シール・ラベル印刷、極小ロットのフィルムパッケージ印刷などへの利用も始まっている。印刷産業向けのデジタル印刷機が10年以上前に登場して以来、機種幅や製造できる品目も拡大してきているが、印刷物生産における活用は未だ限定的である。今後は印刷業界でもデジタル印刷機をさらに活用して、発注元の要望に応じていくことが求められている。

そこで、国内の印刷産業におけるデジタル印刷の状況を把握し、さらに活用度を高めていくための対応策を調査研究することを目的とし、2010年、2011年に続いて、2012年9月にアンケートを実施した。アンケート票の送付先は、印刷機械を主体的に設備している印刷業界団体である、印刷工業会、全日本印刷工業組合連合会、日本フォーム印刷工業連合会、日本グラフィックサービス工業会、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会、全日本シール印刷協同組合連合会、全国グラビア協同組合連合会、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会の各団体から選んだ合計643社とし、189社から回答を得た。

I-1 デジタル印刷の市場規模 概観

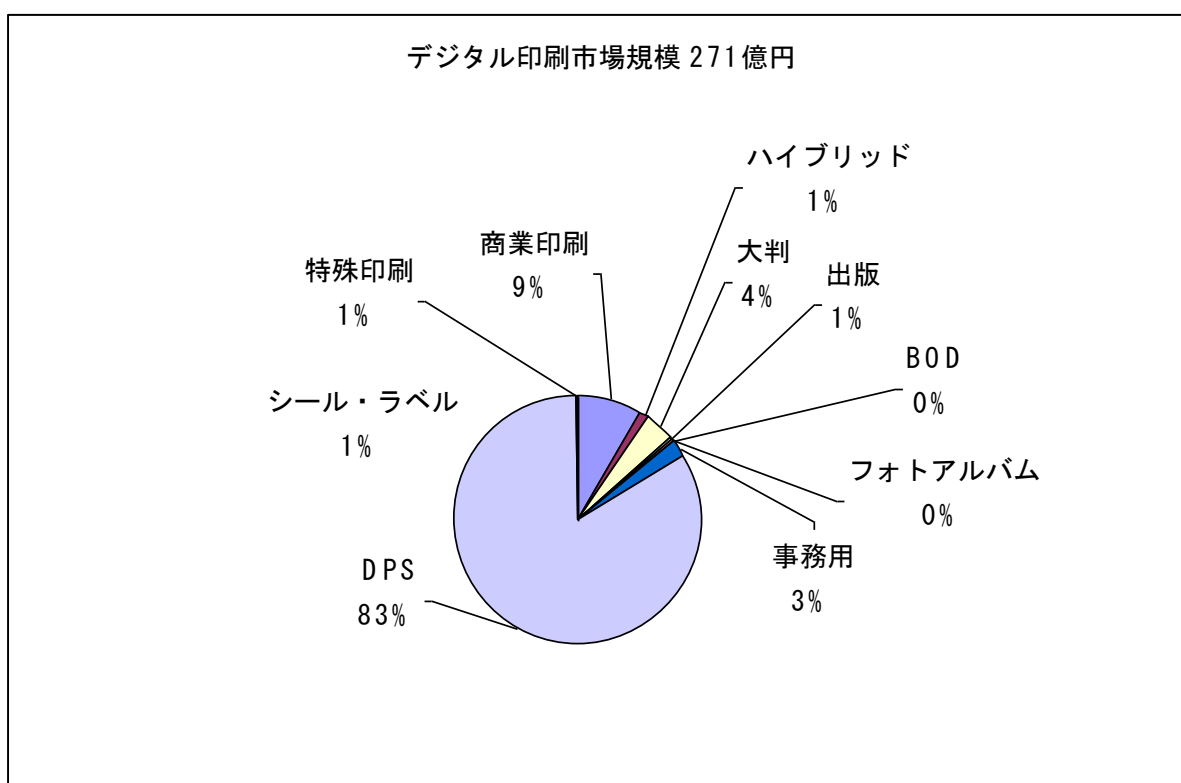
今回調査の特徴は、前回に引き続き印刷品目ごとの売上金額を調査し、デジタル印刷の市場規模を提供頂いたことである。

全回答の 3/4 は売上 30 億円未満の中小企業であったが、売上金額に有効回答を頂いた企業(89 件)の市場(売上)規模は、オフセットなど有版印刷を含めた 3619 億円であった。

2010 年のデジタル印刷市場は約 281 億円（インクジェットデジタルが 245 億円、トナーデジタルが約 37 億円）であったのに対し、2011 年は、59 社約 271 億円（※参考値）だった。

（※注）

2010 年の印刷市場（2011 年調査）では、データプリントで 200 億円規模の売上金額を回答いただいた企業があったが、2011 年の印刷市場（2012 年調査）では無回答であった。デジタル印刷の市場規模として著しく異なる数値となるため、2011 年は推定として同額の売上を加えた参考値を掲載する。



Ⅱ. アンケート調査の結果

Ⅱ-1 アンケート回答企業

アンケートの回収は、下表のようにどの団体からも多くの回答が得られた。団体によって関心の大きさが違うが、デジタル印刷への関心は前回調査調査（2011年度）とほぼ同等であり、同レベルの回答数が得られた。

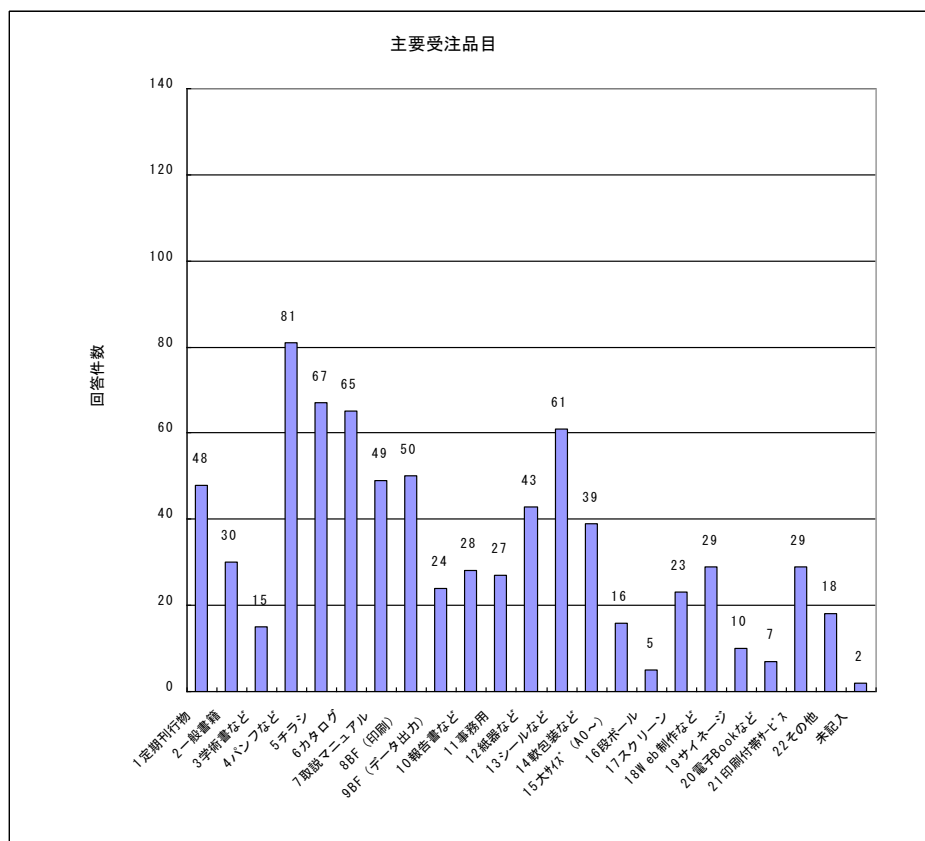
	発送数	回収件数	回収率
印刷工業会	89	33	37%
全日本印刷工業組合連合会	81	32	40%
日本フォーム印刷工業連合会	132	33	25%
(社)日本グラフィックサービス工業会	86	11	13%
日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会	51	16	31%
全日本シール印刷協同組合連合会	100	24	24%
全国グラビア協同組合連合会	54	26	48%
全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会	50	14	28%
計	643	189	29%

(2011年度は発送数 631 件で回収件数は 180 件、回収率は 30%)

Ⅱ-2 アンケートの結果

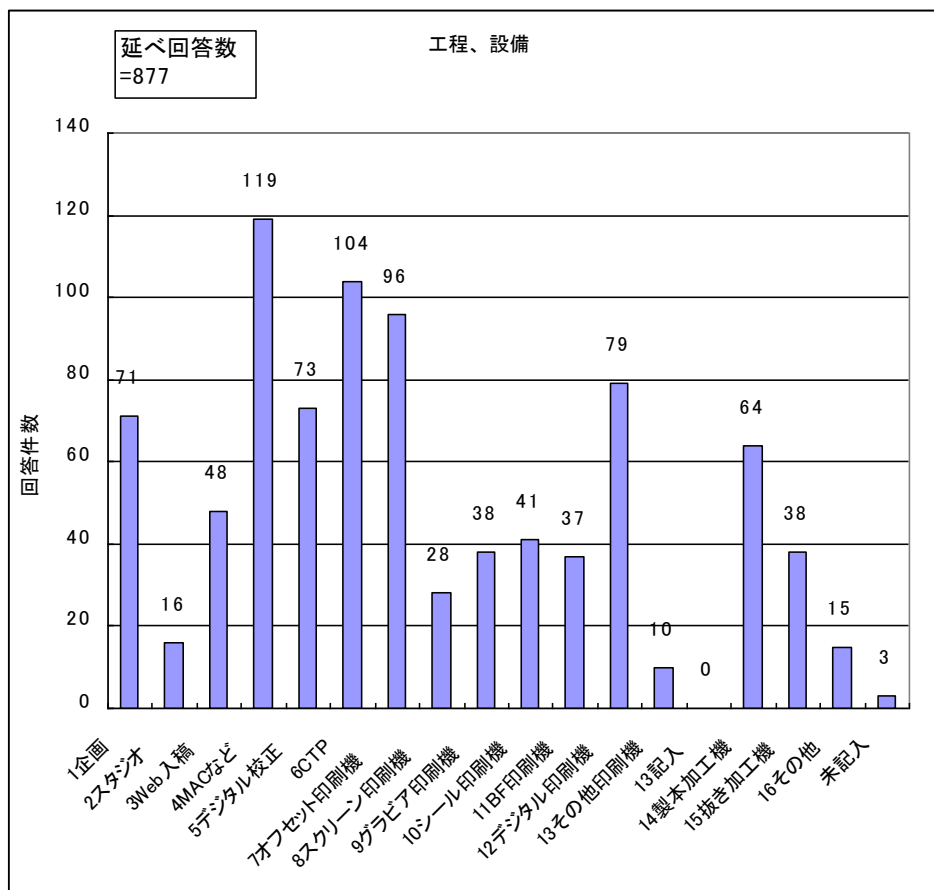
1. 主要受注品目

上位 4 品目のうち商業印刷物のパンフレット・チラシ、カタログが上位 3 位までを占め、4 位はシール印刷である。5 位以降にビジネスフォーム、取扱説明書・マニュアル、定期刊行物と続いている。



2. 社内の工程・製造設備

DTP用PC、CTP、オフセット印刷機、デジタル印刷機、そして製本加工機が上位5位を占める。これにデジタル校正、企画部門、Web入稿システムが続いている。



3. 2011年度の売上高

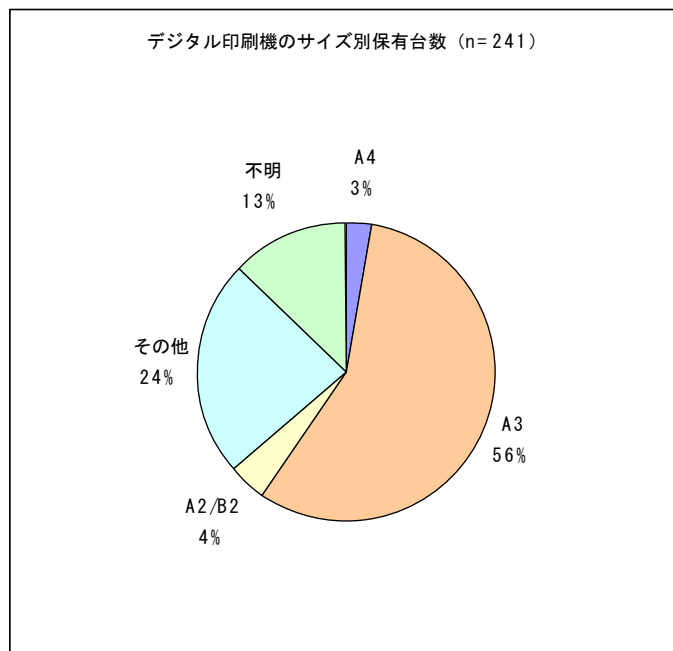
回答企業の売上高について、構成比率が最も多いのは1億円以上30億円未満の印刷会社で64%を占めている。1億円以下の小規模印刷会社の5%を加えると70%弱が比較的小規模な印刷会社からの回答であった。デジタル印刷を小ロット印刷に活用している姿がうかがえる。一方で150億円以上の大手印刷会社は6%であり、大量のデータプリントなどを高速デジタル印刷機で処理していると推察される。

売上高(2011年度)	回答社数	比率
150億円以上	11	6%
80億円以上 150億円未満	8	4%
30億円以上 80億円未満	27	14%
1億円以上 30億円未満	118	62%
1億円未満	10	5%
未記入	15	8%
合計	189	100%

4. デジタル印刷機（生産機）の保有状況

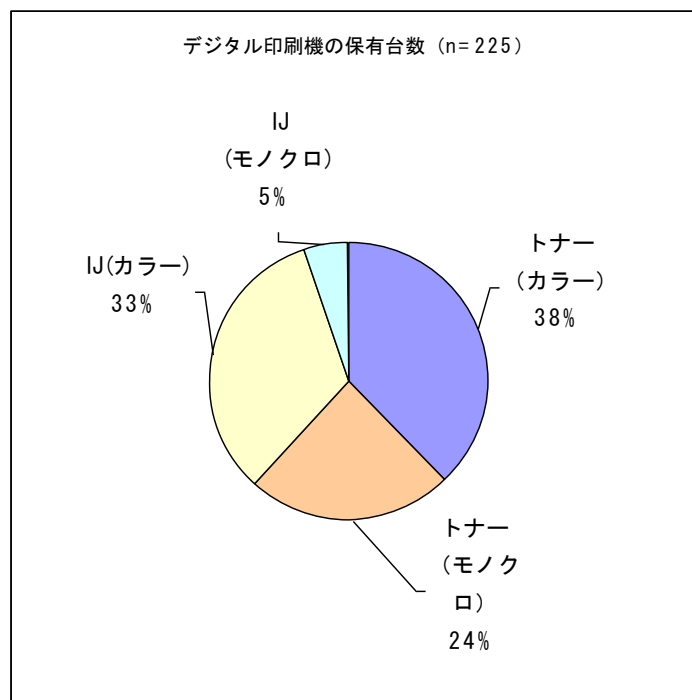
4-1 サイズ別保有台数

アンケートの回答総数は189社であるが、デジタル印刷機の設備について回答が得られたところは72社である。デジタル印刷機のサイズ別保有状況は、50%以上がA3クラスであり、B2以上は4%とごく少数である。



4-2 カラー・モノクロ

デジタル印刷機の方式は、トナー式が6割以上となっている。しかし、カラー/モノクロの区別で見ると、カラーが7割以上となっている

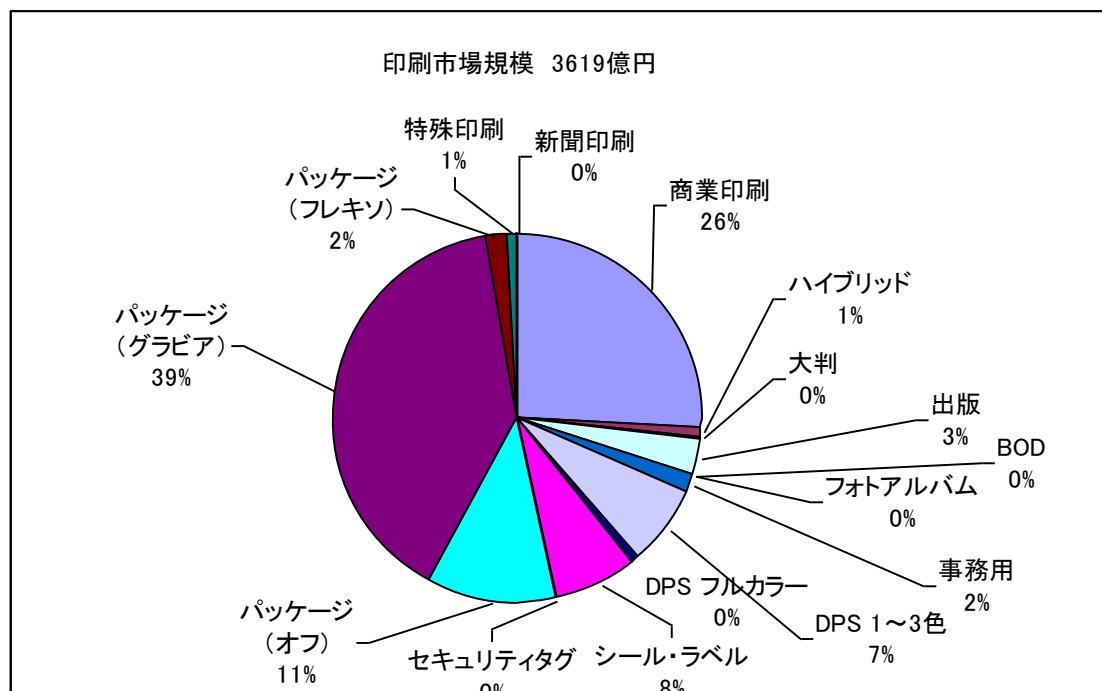


5. デジタル印刷ビジネスの市場規模

5-1 回答 89 社における市場規模

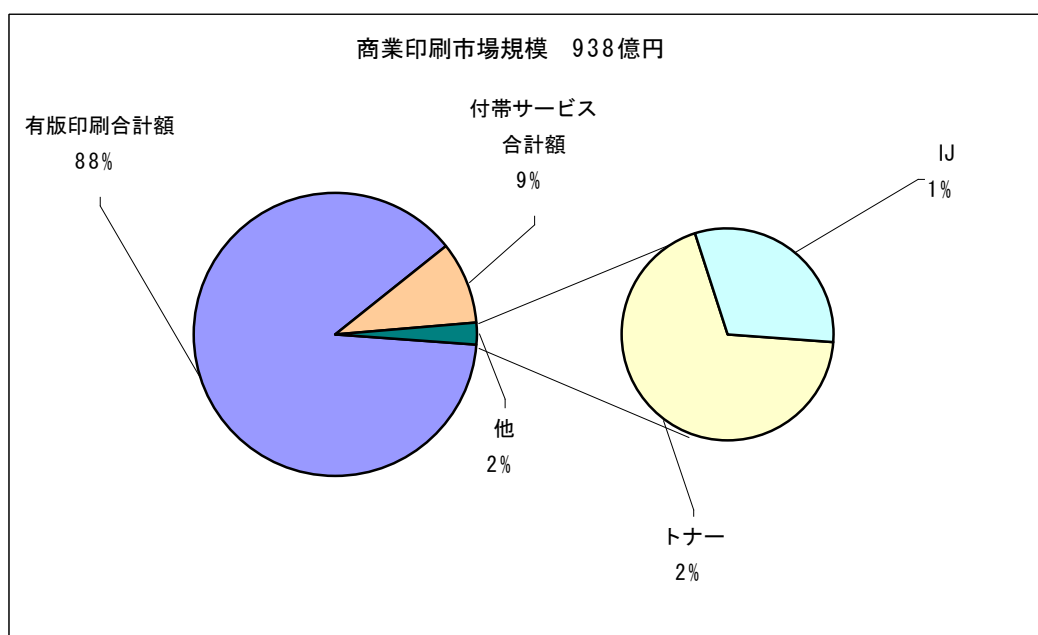
オフセット印刷機などの有版印刷機とデジタル印刷機で製作されている印刷物の品目別の売上高（有版印刷、デジタル印刷、印刷付帯サービスの3要素）の回答が得られた。回答社の市場規模は約 3,619 億円である。

2010年は約 3,350 億円だが、調査対象が同一ではないため成長しているかどうかは不明である。



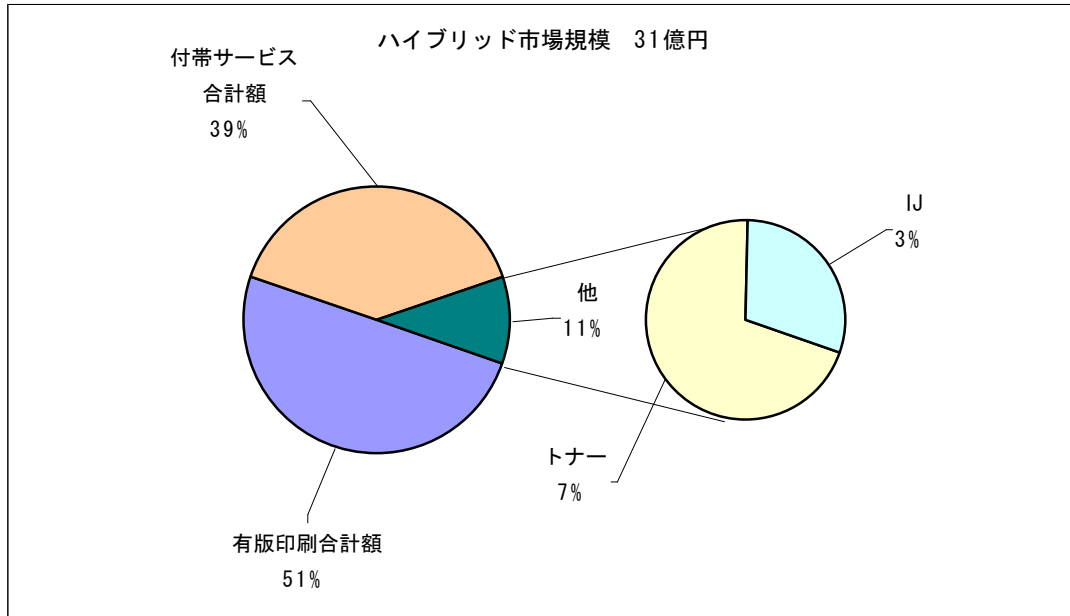
5-2 商業印刷市場規模

89社における商業印刷の市場規模は約 938 億円である。そのうちデジタル印刷は約 23 億円（インクジェットデジタルが約 7 億円、トナーデジタルが約 16 億円）である。印刷付帯サービスは約 88 億円である。構成比はデジタル印刷 2%、印刷付帯サービス 9%、有版印刷は 88%となる。



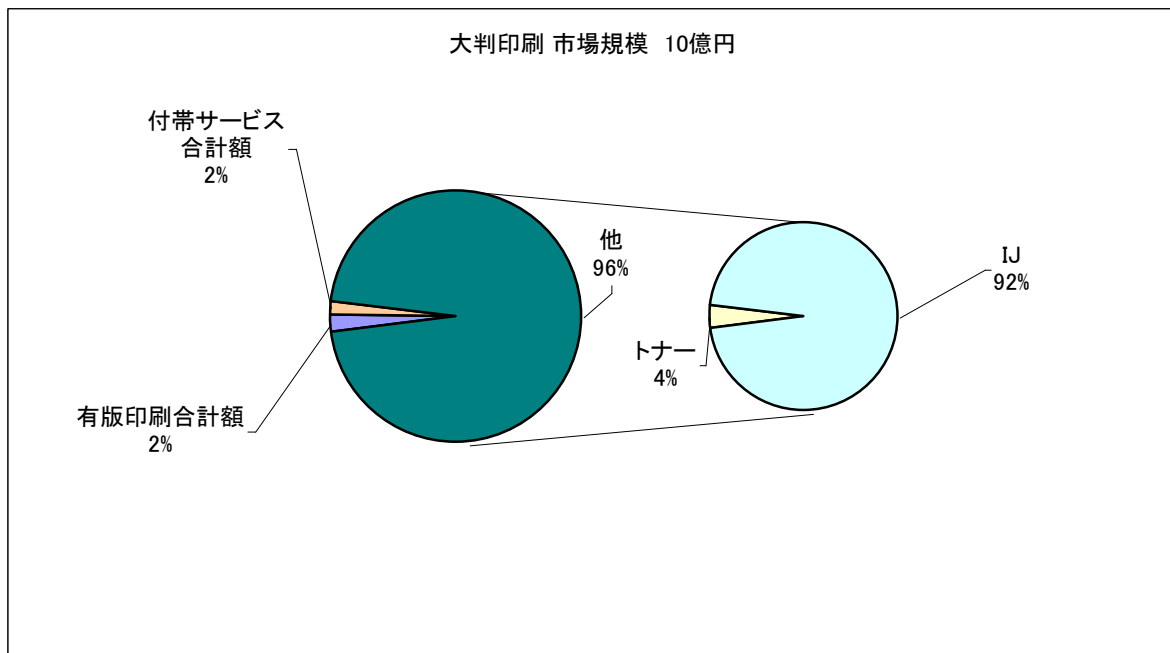
5-3 ハイブリッド印刷市場規模

89社におけるハイブリッド印刷の市場規模は約31億円である。デジタル印刷は約3億円（インクジェットデジタルが約1億円、トナーデジタルが約2億円）、印刷付帯サービスは約12億円である。構成比はデジタル印刷11%、印刷付帯サービス39%、有版印刷は51%となる。



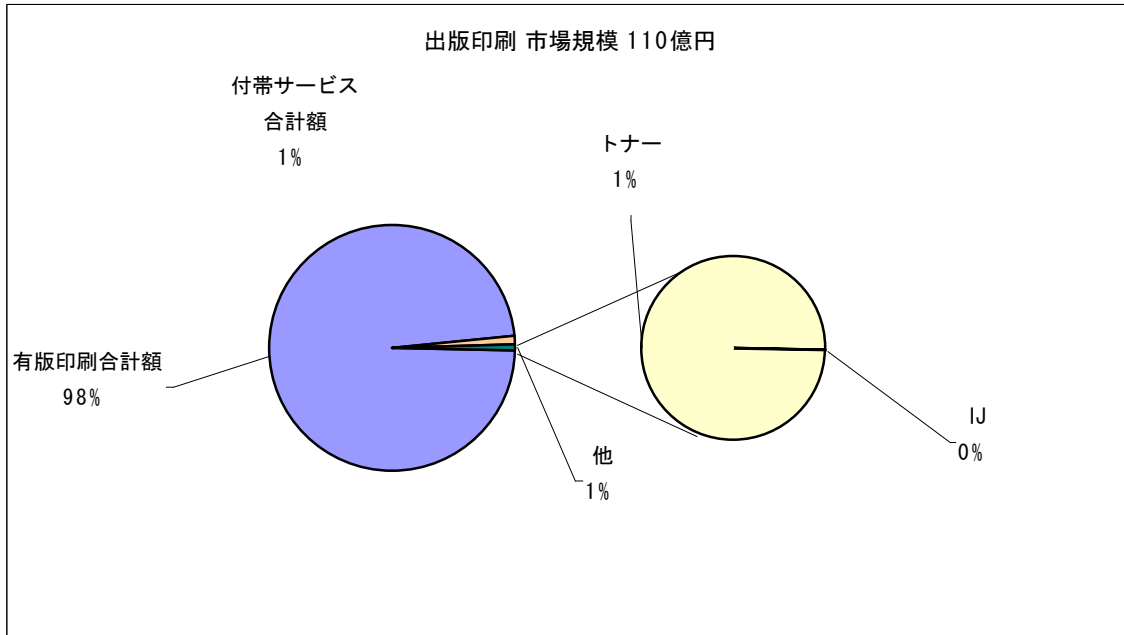
5-4 大判印刷市場規模

89社における大判印刷の市場規模は約10億円である。デジタル印刷は約10.3億円（インクジェットデジタルが約9.9億円、トナーデジタルが約0.4億円）、印刷付帯サービスは約0.2億円である。構成比はデジタル印刷96%、印刷付帯サービス2%、有版印刷は2%となる。



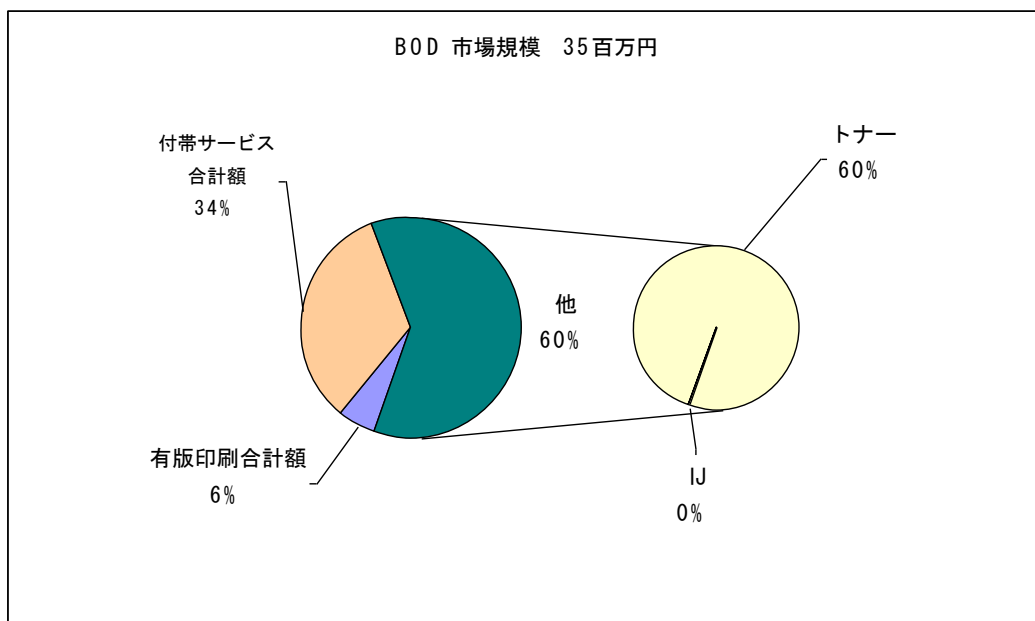
5-5 出版印刷市場規模

89社における出版印刷の市場規模は約110億円である。デジタル印刷は約8.9億円（トナーデジタルのみ、印刷付帯サービスは約1.4億円である。構成比はデジタル印刷1%、印刷付帯サービス1%、有版印刷は98%となる。



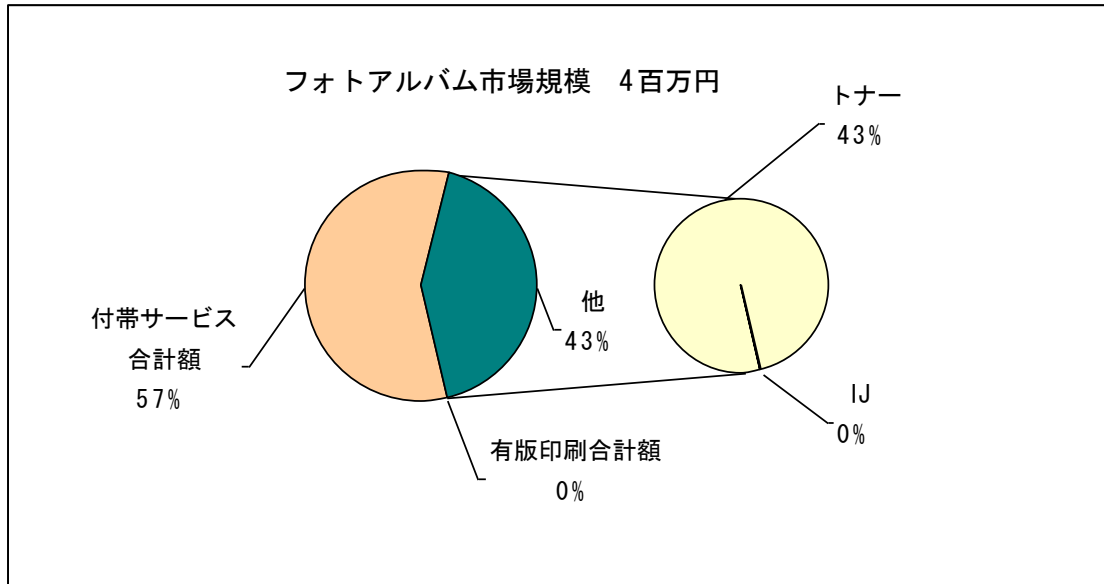
5-6 ブックオンデマンド印刷市場規模

89社における商業ブックオンデマンド（BOD：一部～数百部の出版印刷物）市場規模は約0.35億円である。デジタル印刷は約0.22億円（トナーデジタルのみ）、印刷付帯サービスは約0.12億円である。構成比はデジタル印刷60%、印刷付帯サービス34%、有版印刷は6%となる。



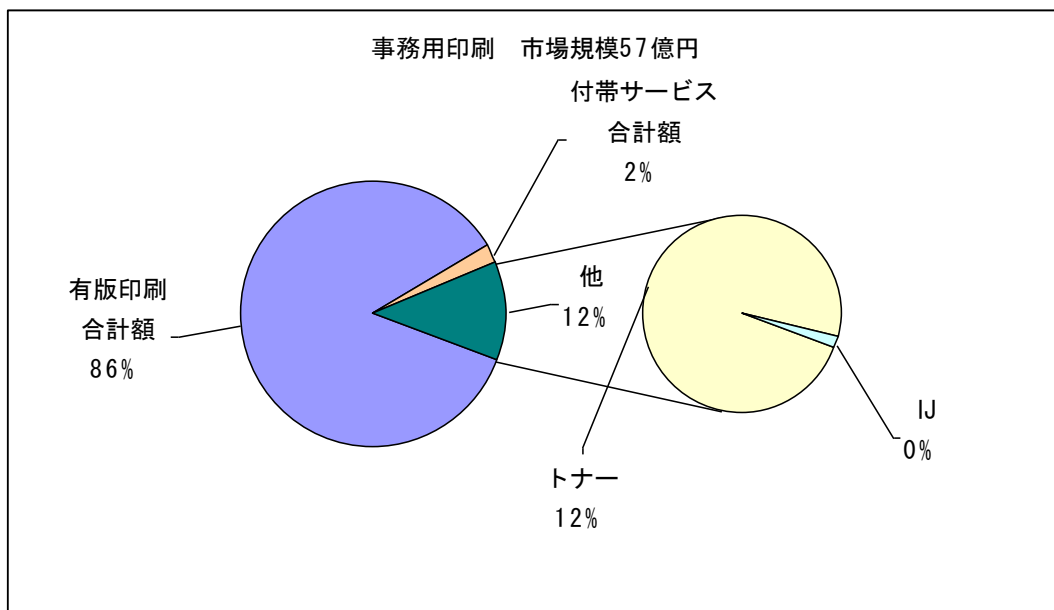
5-7 フォトアルバム印刷市場規模

89社におけるフォトアルバム印刷の市場規模は約0.04億円である。デジタル印刷は約0.02億円（トナーデジタルのみ）、印刷付帯サービスは約0.02億円である。構成比はデジタル印刷43%、印刷付帯サービス57%となる。



5-8 事務用印刷市場規模

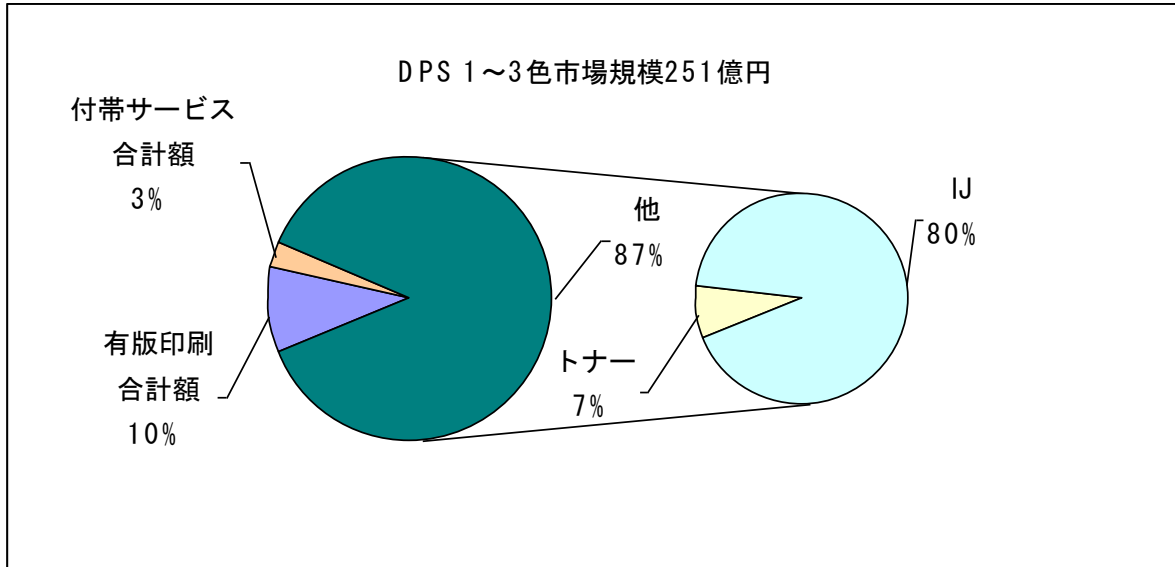
89社における事務用印刷の市場規模は約57億円である。デジタル印刷は約7億円（インクジェットデジタルが約0.1億円、トナーデジタルが約6.6億円）、印刷付帯サービスは約1.2億円である。構成比はデジタル印刷12%、印刷付帯サービス2%、有版印刷は86%となる。



5-9-1 データプリント（1～3色）市場規模

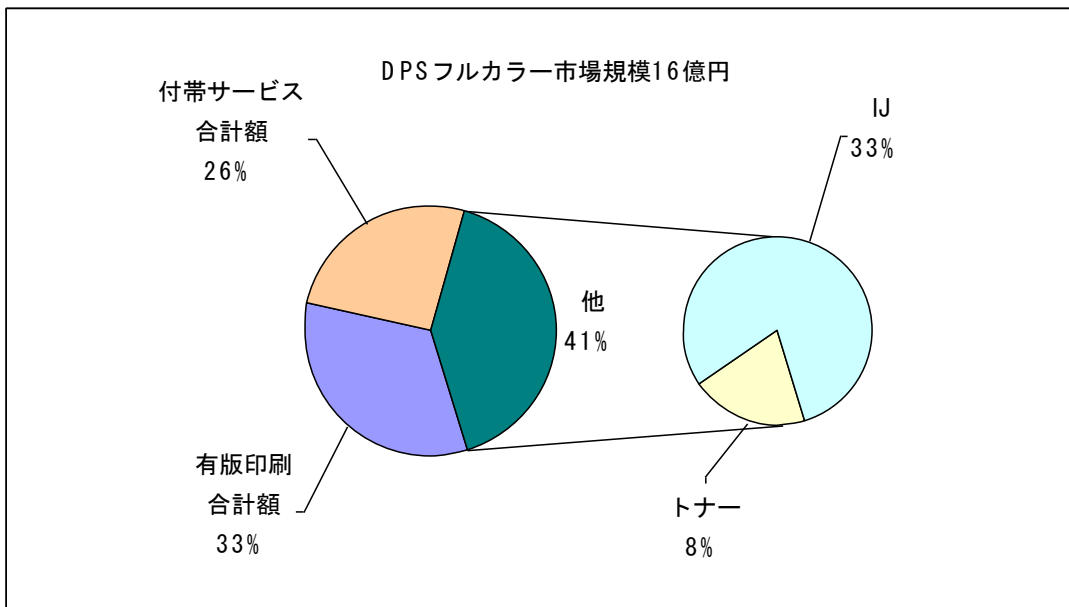
89社におけるデータプリント（DPS）（1～3色）の市場規模は約251億円である。デジタル印刷は約218億円（インクジェットデジタルが200億円、トナーデジタルが約18億円）、印刷付帯サービスは約8億円である。構成比はデジタル印刷95%、印刷付帯サービスはほとんど無く、有版印刷は5%となる。

（※参考値）



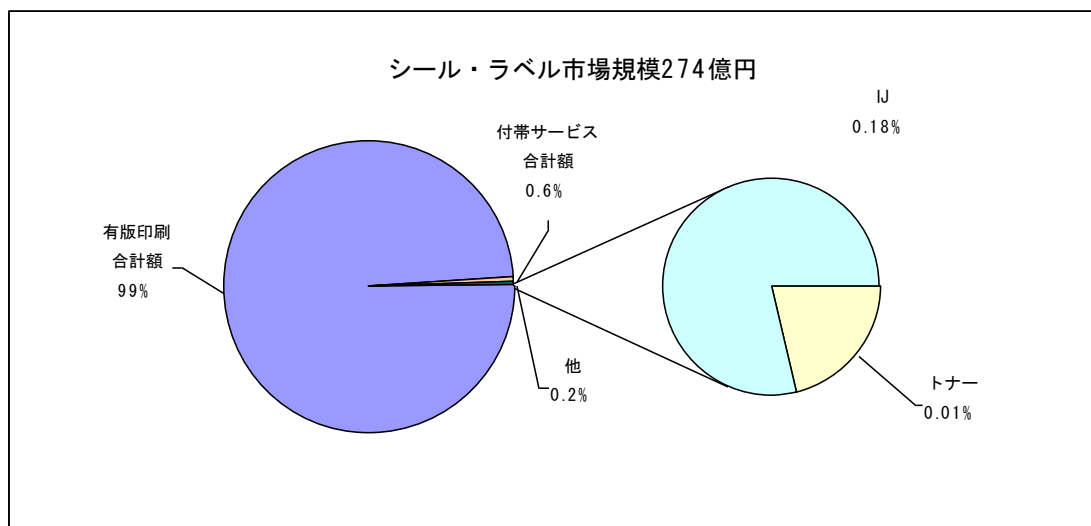
5-9-2 データプリント（フルカラー）市場規模

89社におけるデータプリント（DPS）（フルカラー）の市場規模は約16億円である。デジタル印刷は約6億円（インクジェットデジタルが5億円、トナーデジタルが約1億円）、印刷付帯サービスは約4億円である。構成比はデジタル印刷41%、印刷付帯サービスは26%、有版印刷は33%となる。



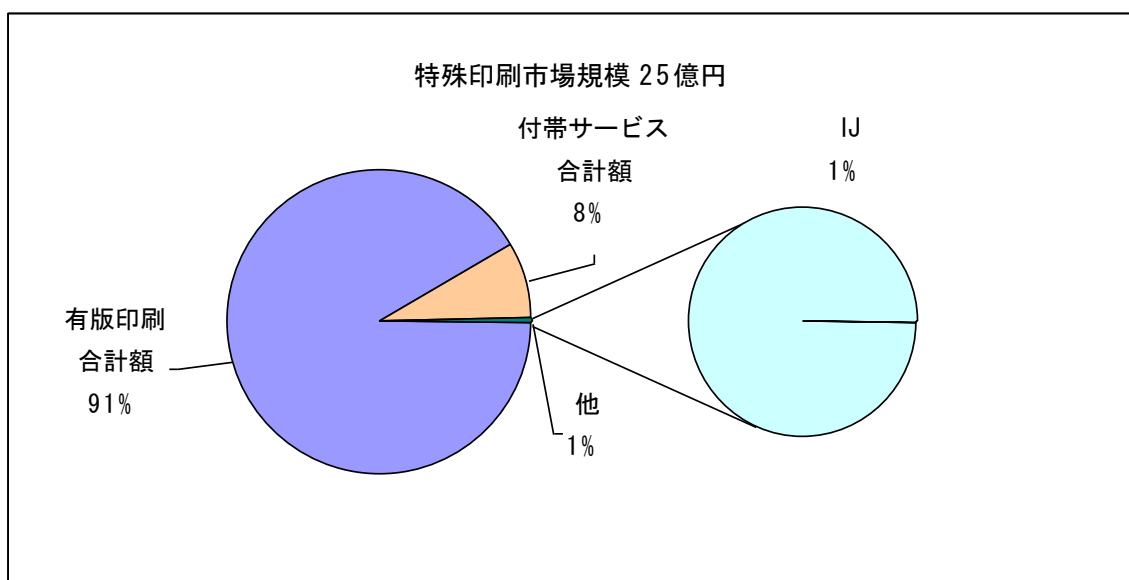
5-10 シール・ラベル市場規模

89社におけるシール・ラベル印刷の市場規模は約274億円である。デジタル印刷は約0.6億円（インクジェットデジタルが約0.5億円、トナーデジタルが約0.1億円）、印刷付帯サービスは約1.7億円である。構成比は有版印刷が99%となる。



5-11 特殊印刷市場規模

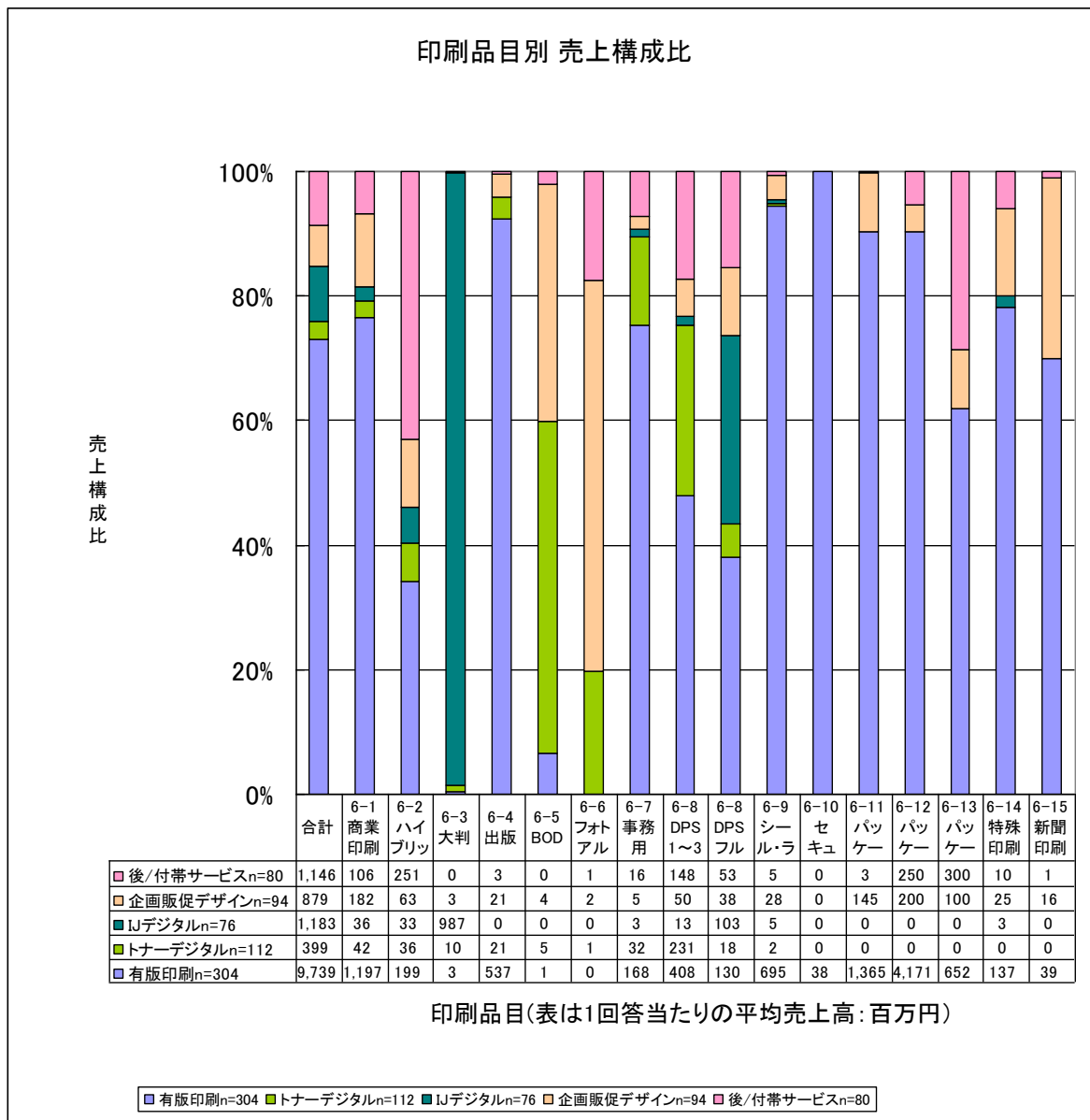
89社における特殊印刷の市場規模は約25億円である。デジタル印刷は約0.16億円（インクジェットデジタルのみ）、印刷付帯サービスは約2億円である。構成比はデジタル印刷1%、印刷付帯サービス8%、有版印刷は91%となる。



5-12 印刷方式別／品目別売上構成比

印刷品目ごとの1回答当たりの売上構成比を、有版印刷・デジタル印刷・印刷付帯サービスという三大売上項目で求めたのが次のグラフである。

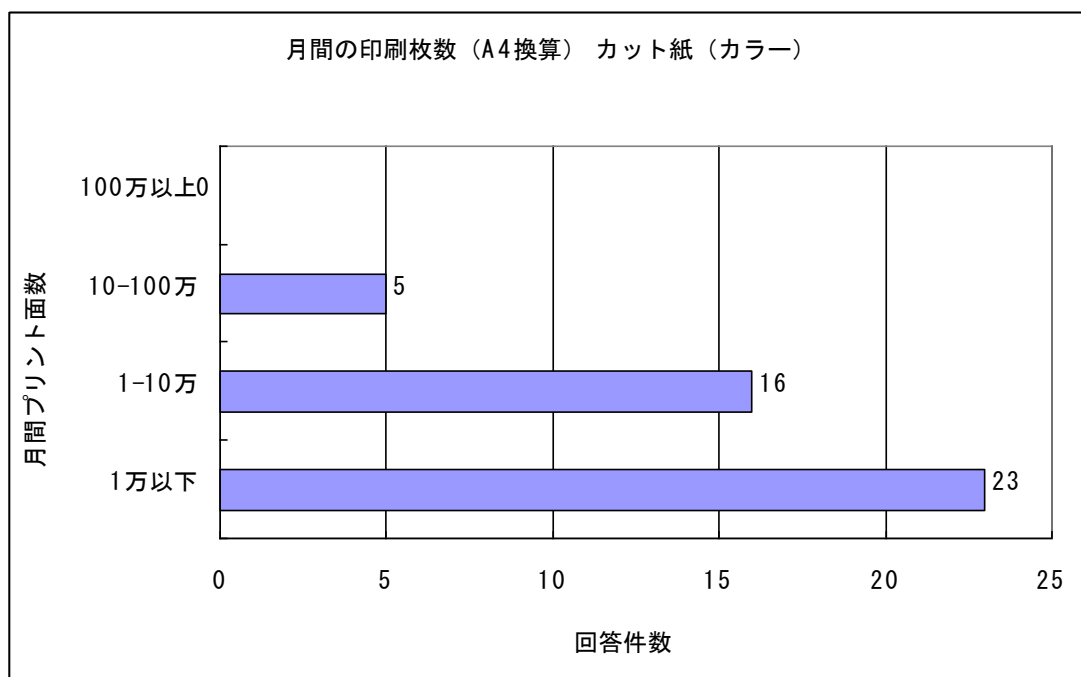
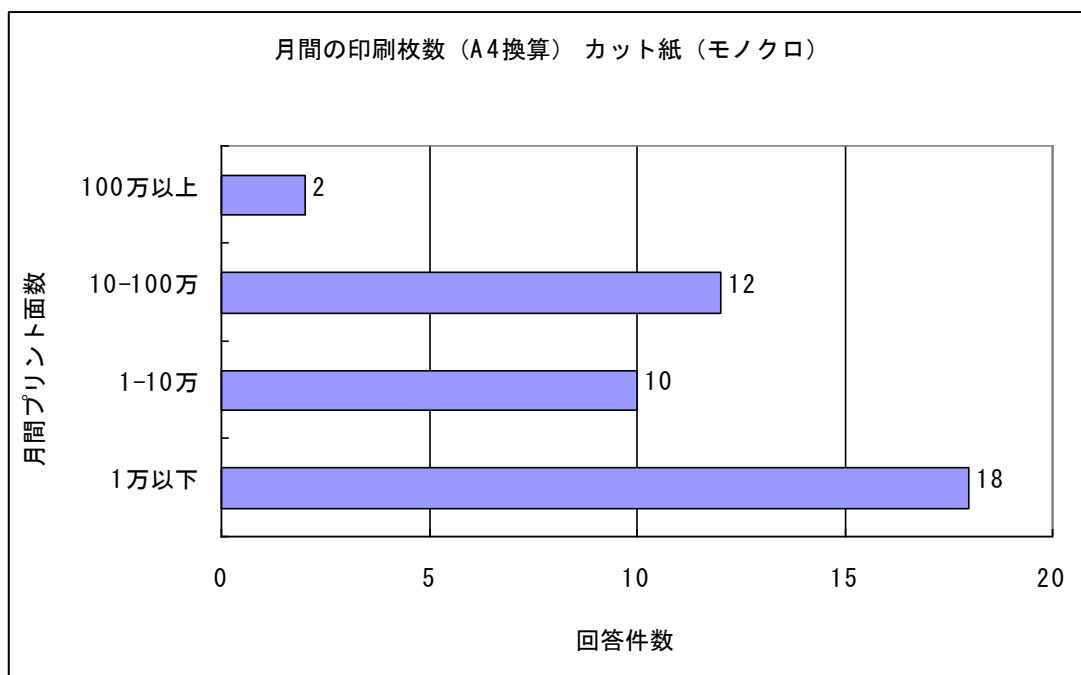
品目ごとに印刷方式や印刷付帯サービスの割合が大きく異なっていることが分かる。



*平均は各品目の延数で除した値

5-13 デジタル印刷の月間プリント枚数

デジタル印刷の月間プリント枚数（A4判、片面換算）については、回答件数の多かったカット紙デジタル機のモノクロとカラーについてのみグラフを示す。

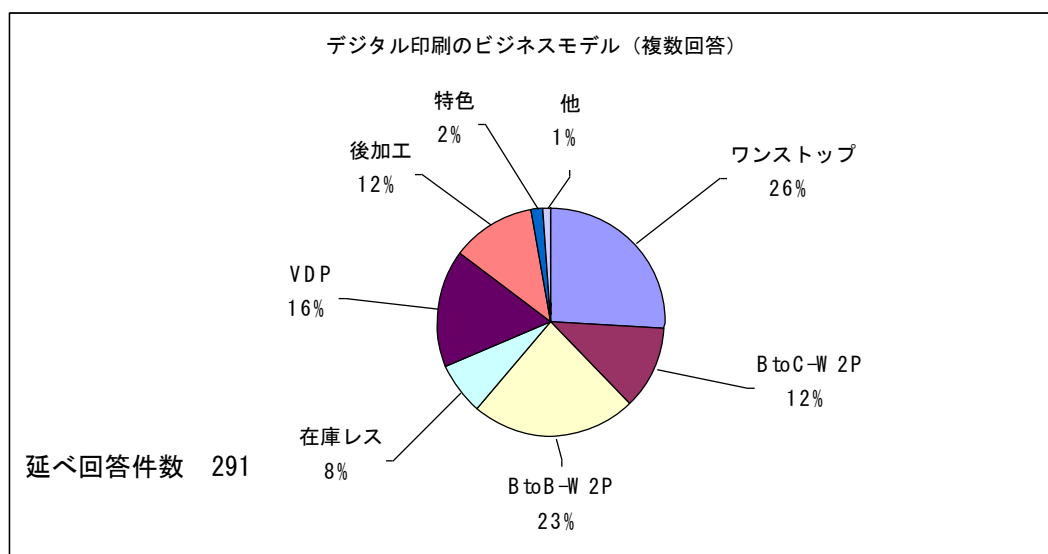


6. デジタル印刷の利用促進

6-1 デジタル印刷ビジネスで重視するビジネスモデル

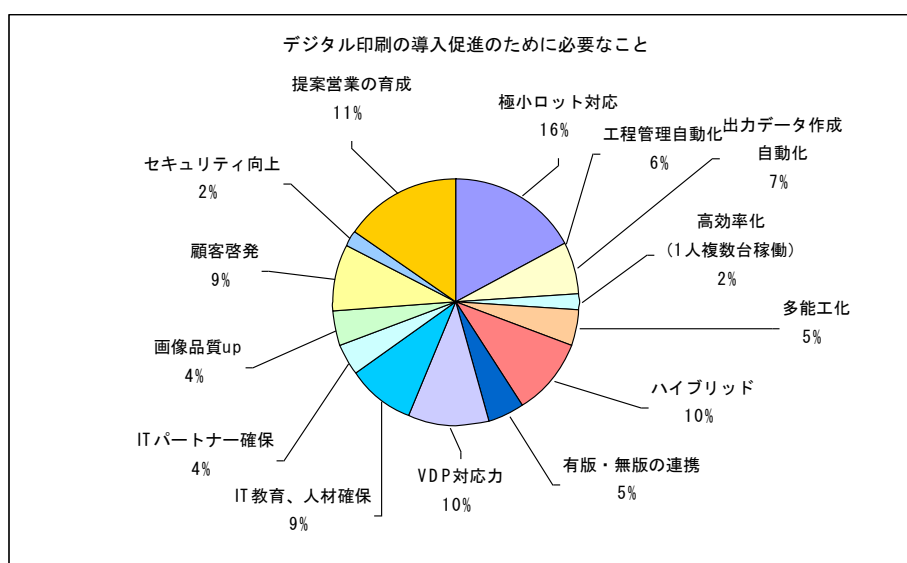
今後のデジタル印刷ビジネスへの取り組みに際しての主たるビジネスモデルを聞いた。回答は、選択式で複数回答である。

291件の回答があり、ワンストップソリューションが26%、Web2Print (B2B) が23%、バリアブルプリント16%と続いている。Web2PrintはB2BとB2Cを併せると35%となる。また、ワンストップソリューションは、後加工や在庫レスを包括している可能性がある。併せると40%以上となり、やはり主要な要素であり、ビジネスモデルであると考えられる。



6-2 デジタル印刷機の導入促進のために必要なこと

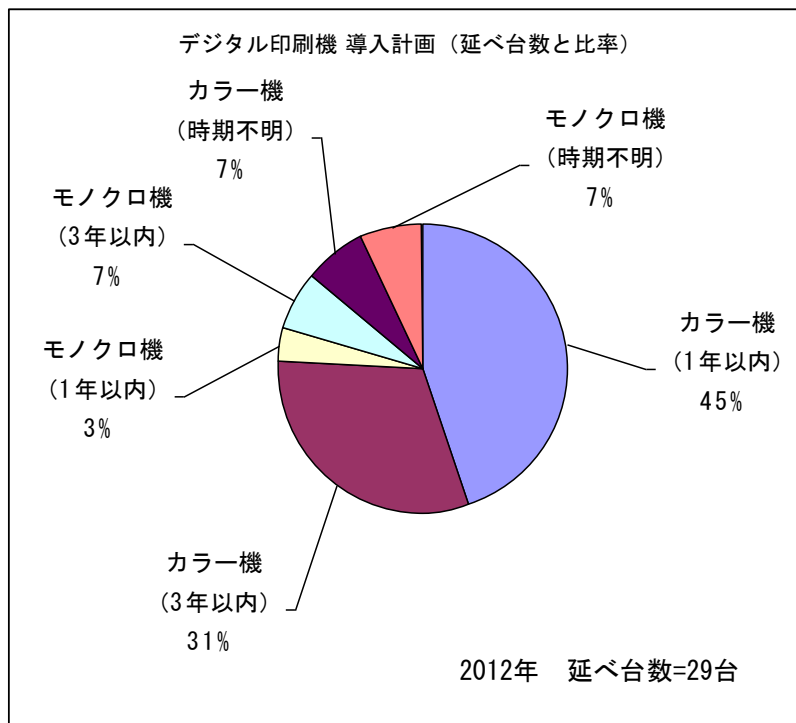
デジタル印刷の導入を促進するために必要なことで最も回答が多いのが、極小ロット対応 (16%) である。提案営業の育成 (11%)、IT教育 (9%)・ITパートナー確保 (4%) という回答から、人材面の課題が大きいことが分る。また、極小ロット対応のための課題 (出力データ作成自動化8%、多能工化8%、高効率化2%) も、意識されている。



7. デジタル印刷機の今後（生産機）の導入計画

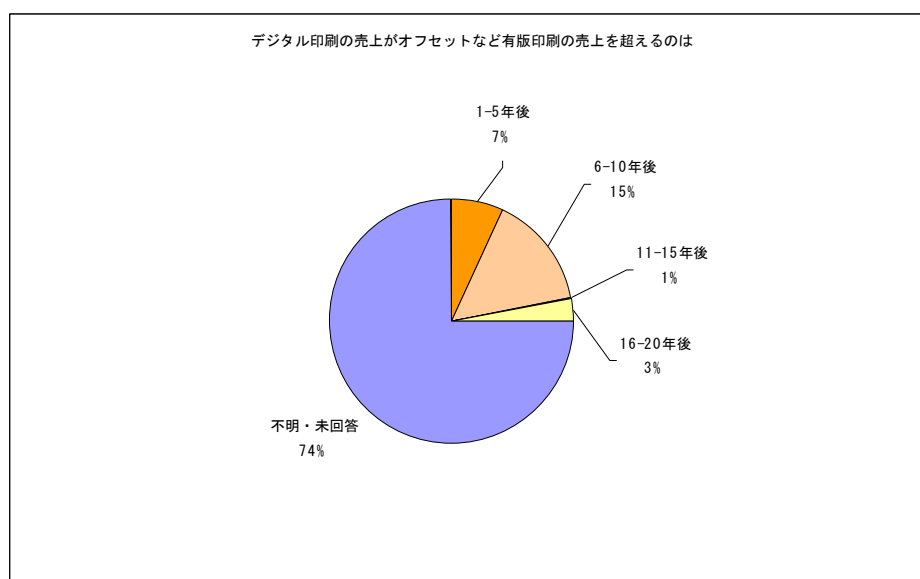
7-1 デジタル印刷機（生産機）の導入計画について

今後のデジタル印刷機の導入予定については、カラー機が83%であり、モノクロ機は17%である。前回調査では2：1程度であったため、急速なカラー機へのシフトが始まったと考えられる。



7-2 デジタル印刷が有版印刷の売上を超える時期

74%が不明・未回答であったが、10年以内という回答も22%あった。分野によって相当な意識差があることが推察される。



《簡易版サマリー》

今回の調査では、オフセット印刷機などの有版印刷機とデジタル印刷機で製作されている印刷物の品目別の売上高（有版印刷、デジタル印刷、印刷付帯サービスの3要素）の回答が得られた。回答社の市場規模は約3,619億円である。

2010年は約3,350億円だが、調査対象が同一ではないため、一概に成長しているとは言えない。しかし、商業印刷市場規模（回答89社）は約938億円であり、構成比はデジタル印刷2%、印刷付帯サービス9%、有版印刷は88%となっていた。調査対象の市場規模に対して、現実の市場規模が十数倍程度であることを考慮すると、デジタル印刷の市場規模も相当レベルで推移していることが推察される。

アンケートでは印刷物を14品目に分類しているが、売上に占める有版印刷・デジタル印刷・印刷付帯サービスの構成比は品目ごとに異なっており、品目が違うとビジネスモデルが異なることが容易に推察できる。今回の結果から、デジタル印刷の利用を促進するには、品目ごとに、それぞれにマッチしたビジネスモデルの成功事例や関連技術、さらに発注者ニーズを研究する必要があることが分った。

デジタル印刷機（生産機）の保有状況は、サイズ別ではA3クラスが50%以上であった。また、色数では、カラー機が7割以上となっていた。しかし、今後の導入計画では、カラー機が83%であり、モノクロ機は17%である。前回調査の導入計画では2：1程度であったため、カラー機へのシフトが進みつつあることが伺える。

デジタル印刷が有版印刷の売上を超える時期という設問に対し、74%が不明・未回答であったが、10年以内という回答も22%あった。例えば大判印刷やフォトブックなど、特定の分野では既にデジタル印刷が主力であるなど、分野によって相当な意識差があると推察される。

今後のデジタル印刷における主要なビジネスモデルの設問に対しては、ワンストップソリューション（後加工や在庫レスを包含する）とWeb to プリント（B2BとB2Cを含む）の回答が目立っていた。顧客に対してワンストップというメリットを提供すること、あるいはWeb経由での見積・注文やデータ入稿を実現するという一方で、デジタル印刷の特徴に即したビジネスモデルであると言える。今後のデジタル印刷ビジネスがこのような方向性にあることが、推察される。

また、デジタル印刷の導入促進に何が必要かという設問では、提案営業の育成、IT教育、ITパートナー確保という回答が目立っていた。企画提案、ビジネスモデルや商品の開発を担う人材やパートナーを必要としている様子が伺える。

以上